

5-2 東海地方の微小地震の分布 (2001年 5月 1日~10月 31日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District(May 1-October 31,2001)

名古屋大学大学院理学研究科
Graduate School of Science, Nagoya University

前報¹⁾ に引き続いて2001年 5月 1日より2001年 10月 31日までの6カ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

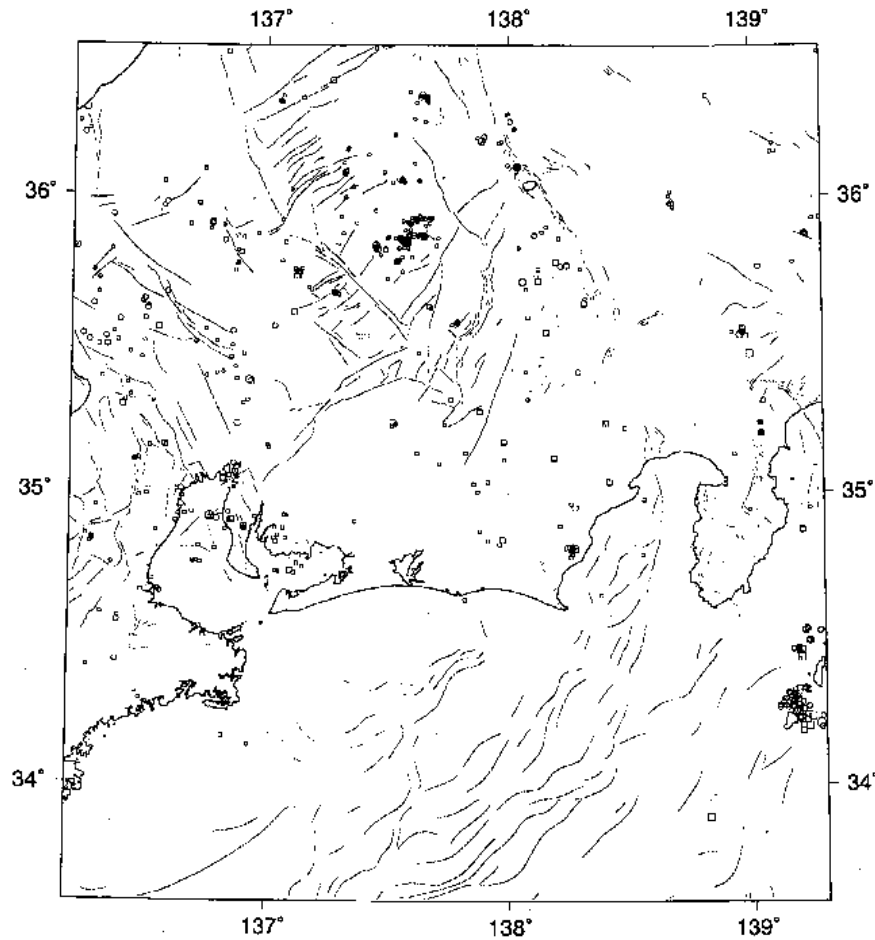
第1図は2001年 5月 1日より2001年 10月 31日までの6カ月間に名古屋大学大学院理学研究科および東京大学、京都大学、気象庁の地震テレメータ観測網によって観測された20km未満の深さで発生している地震の震央を3カ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20km以深から80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) 上部地殻内に発生する地震については、全体的に静穏であったが、山梨県東部で8月14日にM3.7の地震岐阜県南部地域で10月23日にM3以上の地震があった。
- (2) 長野県西部地域ではほぼ定常的であったが、活動の中心は北東部に移っている。
- (3) フィリピン海プレート内の地震活動は概ね定常的であったが、6月1日から3日にかけて静岡県中部でM4 夫場の地震があったほか、9月22日と27日に愛知県でM4以上の地震あった。

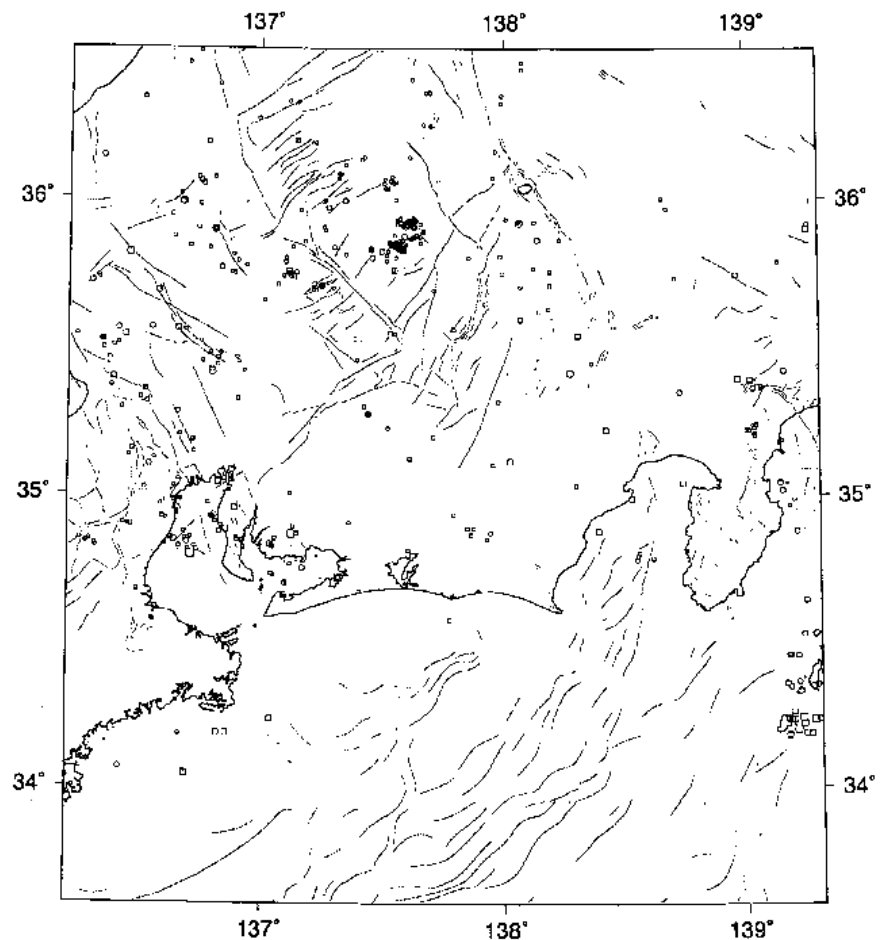
参 考 文 献

- 1) 名古屋大学大学院理学研究科：東海地方の微小地震の分布 (2000年 11月 1日~2001年 4月 30日)，連絡会報，66，(2001)，232-234.



N= 623
 DEPTH 0 10 20 MAG. 1 2 3 4 5 6 7
 ○ □ * ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

2001 5 - 2001 7

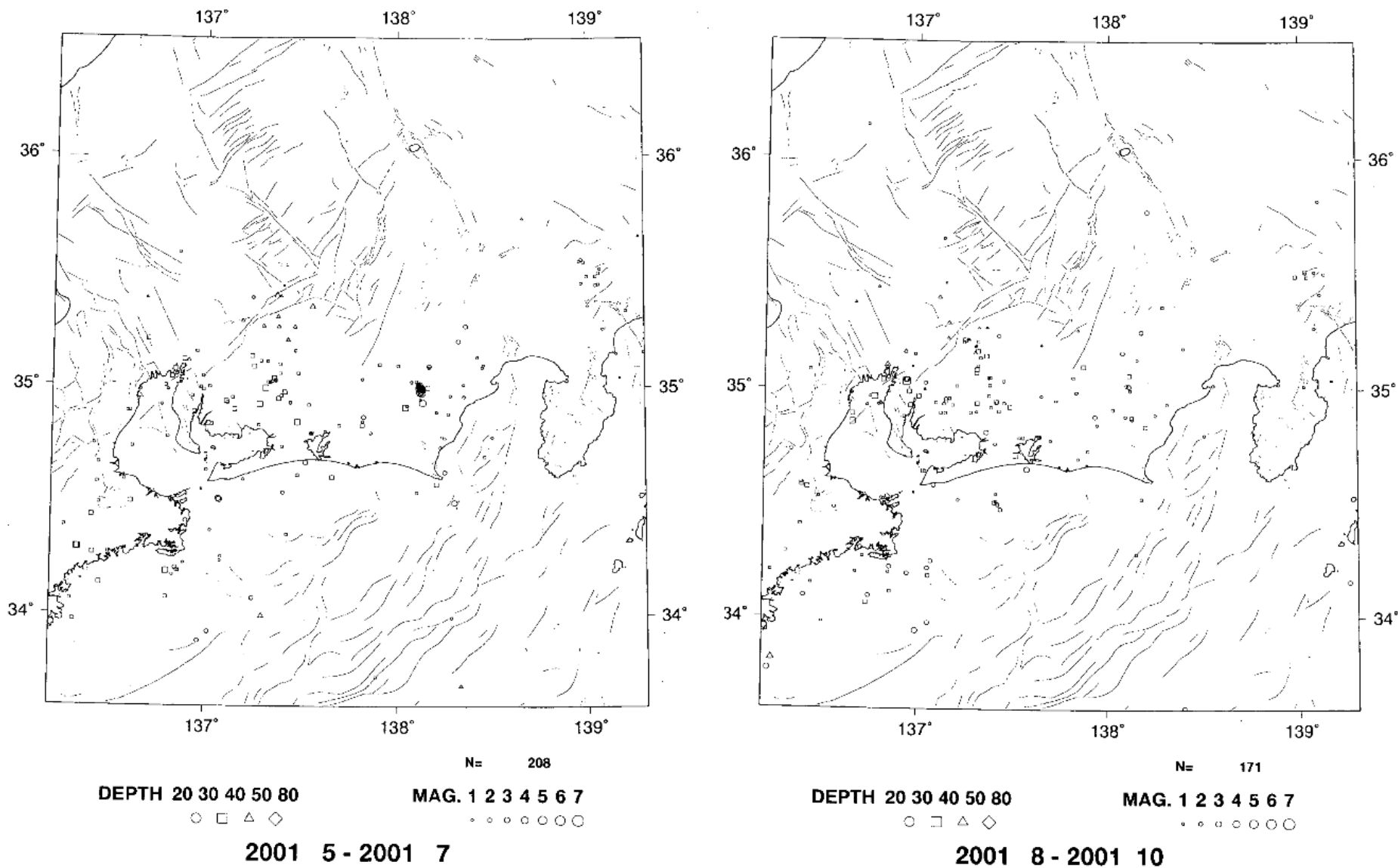


N= 458
 DEPTH 0 10 20 MAG. 1 2 3 4 5 6 7
 ○ □ * ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

2001 8 - 2001 10

第1図 微小地震の分布 (2001年5月1日~2001年10月31日) 震源の深さが20km未満のもの

Fig.1 Epicenter distribution of earthquakes (May 1,2001-Oct.31,2001) shallower than 20km.



第2図 微小地震の分布 (2001年5月1日~2001年10月31日) 震源の深さが20km以深から80km未満のもの
 Fig.2 Epicenter distribution of earthquakes (May 1,2001-Oct.31,2001) deeper than and equal to 20km.